



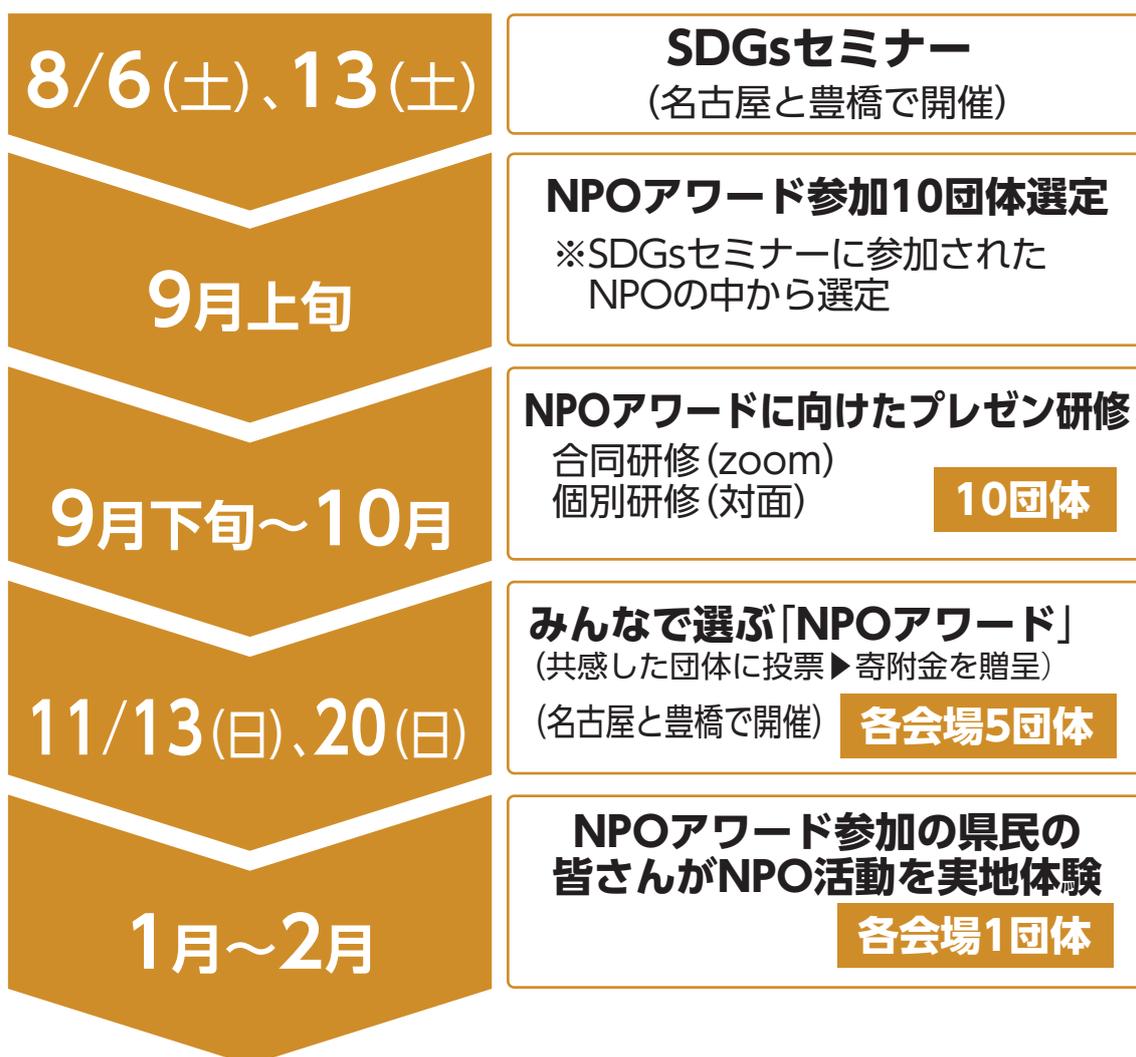
「持続可能な社会の創り手育成事業」とは

社会課題の解決に取り組むNPOに対して、SDGsの普及促進を図ることにより、NPOの活動の可能性を広げます。

また、NPOとSDGsに取り組む企業や大学等との協働を促進することで、多様な主体が社会全体で地域活動を支えていく、持続可能な社会の創り手を育成していきます。

当事業は上記を目的として実施する事業です。

全体スケジュール



目 次

Contents

01	SDGsセミナー	
	1. 開催概要	03
	2. 開催実績	04
	3. 参加したNPOの声	06
02	NPOアワードに向けたプレゼン研修	
	1. 研修内容	07
	2. 参加者の声	08
03	NPOアワード	
	1. 開催概要	09
	2. 開催実績 名古屋会場	10
	3. 開催実績 豊橋会場	14
	4. 発表したNPOの声	18
	5. 参加した県民の声	18
04	実地体験	
	開催実績 ①	19
	開催実績 ②	20
05	参加NPO紹介・寄附金活用状況	21

1. 開催概要

SDGsに関する概要説明等を通じて、NPOの職員がSDGsに関する理解を深めるとともに、自団体の取組とSDGsの関係を分析し、現状を把握することを学ぶことで、活動の可能性を広げるためのセミナーを開催しました。

1 スケジュール

開催会場	日時	参加者
名古屋会場 ウイングあいち	8月6日(土) 13:30～16:30	46名 (会場:20名、 オンライン配信:26名)
豊橋会場 emCAMPUS	8月13日(土) 13:30～16:30	21名 (オンライン配信のみ)

2 内容

▶ SDGsセミナー研修 ➡ P4 ①

講師：戸成司朗氏（一般社団法人中部SDGs推進センター 代表理事）

内容：「SDGsに取り組む意義」
「NPOがSDGs宣言をするためには」

▶ SDGsの取り組み事例発表 ➡ P4 ②

企業：東海労働金庫 名古屋会場
株式会社サーラコーポレーション 豊橋会場

学校：名古屋国際中学校・高等学校 名古屋会場 豊橋会場

▶ 参加NPOと事例発表者との意見交換 ➡ P5 ③

ファシリテーター：戸成司朗氏



2. 開催実績

1 SDGsセミナー研修



戸成講師より、「SDGsを羅針盤に社会の持続可能戦略を考える」と題し、未来から選ばれるNPOになるために、今、何をすべきかを講義していただきました。

参加したNPOの方々からは積極的に質問があり、皆さん真剣に考えている姿勢がうかがえました。

豊橋会場開催時は、台風接近により全員がオンライン(Zoom)参加となりましたが、資料を共有したり、チャットを使用したりすることで、効果的に研修を実施できました。

2 SDGsの取り組み事例発表

東海労働金庫様からの事例発表



名古屋国際中学校・高等学校の生徒さんからの事例発表



株式会社サーラコーポレーション様からの事例発表



名古屋国際中学校・高等学校の生徒さんからの事例発表



名古屋会場では、まず東海労働金庫様より発表していただきました。協同組織の福祉金融機関として、寄附金によるNPOへの支援をはじめ、青少年への教育や就労支援、災害被災者への支援、環境保全など、行政とも連携して幅広く地域課題に取り組まれています。

続いて、名古屋国際中学校・高等学校の生徒さんから、SDGsに取り組む部活動について発表がありました。廃棄される材料から若者のアイデアで新たな製品を企業と共に作ったり、障害者スポーツや地域のお祭りなどに参加するなど、エネルギーあふれる活動状況がうかがえました。(当内容は豊橋会場でも発表)

豊橋会場では、株式会社サーラコーポレーション様に発表していただきました。ガスや電気といったインフラから、住環境など様々な事業を展開され、地域に密着してSDGsに取り組まれています。環境負荷低減のための活動はもちろん、スポーツを通しての青少年育成支援、音楽での地域文化振興への貢献など、学校、企業、行政とも連携し、積極的に他の団体と協働されています。

3 参加NPOと事例発表者との意見交換

名古屋会場



▶ 学校と参加者

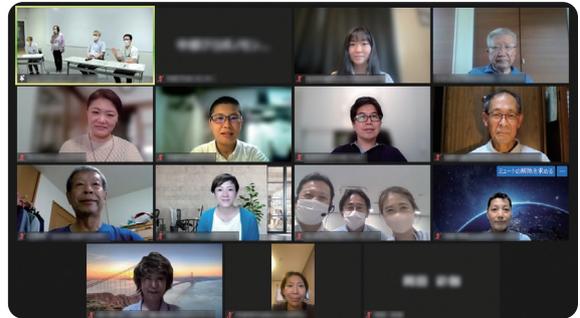
どのように他の団体と連携するのか？

きっかけは地域（行政）だったり、NPOや企業双方からだったり、様々である。

家族でSDGsについて話すにはどうしたら？

普段している何気ない行動がSDGsにつながっていることもあるので、あまり難しく考えず、これもSDGsだね、と会話してみてもいい。

豊橋会場



▶ 企業と参加者

地域とつながる時に苦労することは？ つながるには？

元インフラの会社なので地域とはつながっているが、SDGsの取り組みとして何をいつやるのかというタイミングは大切である。NPOの方々も是非積極的に活動を発信して企業へつながりたいと働きかけてほしい。

▶ 学校と参加者

活動を通じて、どのような変化があったか？

SDGsに関わる活動を通して自分の価値観が変わった。人と人とのつながりの大切さや、つながりによって新しいものが生み出されるということに気づいた。

3. 参加したNPOの声

17の分野に合わせて
単純に「何かをしよう」と思っていました。でも
「SDGsとは、2030年のあるべき姿」という話を聞き、自分たちの志をもう一度見直し、利害関係者とのつながりをどうしていきたいか考えることはできると感じました。まずは自分のパーパスを決めるところから始めたいと思います。

今までの
SDGsについての理解
がうわべだけのものであったことを反省するとともに、
私たちは歴史の転換期に
いることを改めて自覚させ
られました。

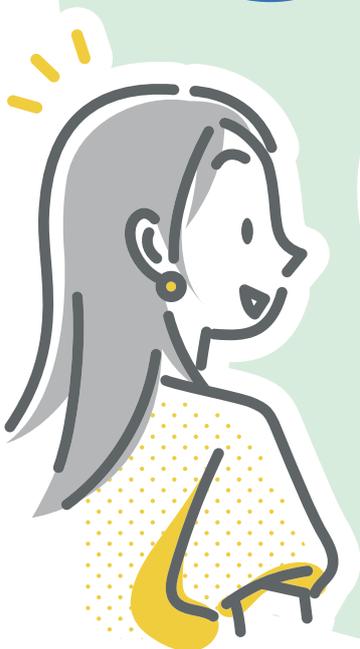
社会全体、
地球全体から見た、
未来を見据えた
視点を学ぶことが
できました。日々目の
前の活動に必死でどこを
目指しているのか分から
なくなる事がありま
したが、今回セミナー
を受け、あたためて先
のこと、社会に貢献で
きることを考える機
会を頂き、団体の志
を再確認する事
ができました。

自団体だからこそ出来ること、
パーパス「存在意義(志)」を設定し、
自分たちの価値、ノウハウ、運営力を高
めていき、どう達成していくのか資金面
も含めマネジメントすることが大事
だと感じました。自己満足や自己実現
で終わらないよう、団体内で共有し、
議論していきたいです。

SDGsは
これからの社会を考える
重要な羅針盤であることを痛
感しました。また、世代に関わ
らず、社会課題を考えることが
できるツールであることも
実感しました。

高校生たちの志にとっても感銘を受け途中で
涙が出る程でした。理想を掲げるだけでなく、実践し、熱い思いを
伝え続けること。そして問題を解決するんだという意気込みとひた
むきさ。溢れる創意工夫。先生のサポートも素晴らしく、学校として
の取り組み方もとても参考になりました。

現代は「ESG投資」「SDGs」の考え方が
広まりをみせ、企業や投資家も利益の追及だけ
を目標にするのではなく、パーパスの明確な団体と
一緒により良い未来を創る事に目を向けているので、
そこに働きかけ活動資金を得ながら今後の活動を
展開したいと思いました。



1. 研修内容

選定されたNPO10団体に対し、NPOアワードにおいてより効果的なプレゼンテーションを実施するため、また、伝える力を身につけることにより資金調達力の向上につなげるため、効果的な資料の作成方法やプレゼンスキルを学ぶ「NPOプレゼン研修」を実施しました。

合同研修

日時: 9月24日(土) 13:30 ~ 15:30

方法: オンライン(Zoom)にて、NPOアワードに参加する10団体の他、選定外となった団体も参加して実施

講師: 戸成司朗氏 (NPO法人中部プロボノセンター 代表理事)

内容: 「SDGsの推進に貢献し支援者の協力を得るための共感を得るプレゼンテーション」と題し、伝えるから伝わるプレゼンテーションのノウハウを講義しました。



受講後、ノウハウに沿って各団体にてプレゼン資料を作成



個別研修

日時: 10月27日(木) 13:15 ~ 16:45
10月28日(金) 13:00 ~ 15:15
10月29日(土) 14:30 ~ 17:30

場所: 10月27日(木) 刈谷市中央生涯学習センター 研修室
10月28日(金)、29日(土) あいちNPO交流プラザ 会議コーナー

講師: 戸成司朗氏 (NPO法人中部プロボノセンター 代表理事)、
別所大介氏 (同 スペシャリスト)

内容: 参加した10団体のそれぞれが作成したプレゼン資料に対し、個別指導(45分/1団体)を行いました。まずは、本番と同様の形で実際にプレゼンし、講師より具体的にこうした方が伝わるとアドバイスしました。皆さん、より多くの共感を得られる資料とするべく、熱心に指導を受けていました。



プレゼン資料をブラッシュアップ



個別
最終確認

日時: 11月4日(金) 13:00 ~ 17:30
11月5日(土) 10:00 ~ 11:30
11月6日(日) 10:00 ~ 13:30

講師: 戸成司朗氏 (NPO法人中部プロボノセンター 代表理事)

内容: オンライン (Zoom) にて、講師より最終チェック (30分/1団体) を行いました。皆さん、先の個別研修での指摘事項はしっかりと直しており、微修正のみで無事確認を終えました。

NPOアワードに向けプレゼン資料を最終仕上げ

個別研修の様子



2. 参加者の声



個別に研修していただいたことは大変ありがたかったと思います。

合同研修は、オンラインでの参加でした。移動時間がなく時間調整ができて良かったと感じています。また、個別研修は対面で細かい指導をしていただいたことにより、自分のプレゼンに対する課題等がクリアになりました。



講師の先生方が、団体の活動をしっかり理解した上で魅力を引き出し、伝え方を伝授してくださったことがとてもありがたかったです。そして、1度座学を受けるだけでなく、実践やフィードバックをいただくことによって身についたと感じております。また、このときに作成したプレゼンは団体の財産になりました。

1. 開催概要

県民の皆様にNPOのことをもっと知っていただくため、「みんなで選ぶ『NPOアワード』」を開催しました。

このNPOアワードでは、SDGsや地域課題解決に取り組むNPOが活動の発表を行い、それにより参加者が共感したと思ったNPOに投票します。そして、参加者からの投票結果と審査員による審査結果に基づき、協賛団体から参加したNPOに寄附金が贈呈されます。

1 スケジュール

開催会場	日時	参加NPO	参加者
名古屋会場 名古屋国際センター	11月13日(日) 13:30～16:30	<ul style="list-style-type: none"> NPO法人おさんぼや NPO法人こまき市民活動ネットワーク NPO法人オフィス・マハロ NPO法人多文化共生サポートAdagio NPO法人知多地域権利擁護支援センター 	54名 (会場:45名、 オンライン配信:9名)
豊橋会場 emCAMPUS	11月20日(日) 13:30～16:30	<ul style="list-style-type: none"> NPO法人青ねこくらぶ 認定NPO法人アジア車いす交流センター 学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会 NPO法人地域福祉サポートちた NPO法人クオーレ 	56名 (会場:40名、 オンライン配信:16名)

2 内容

- ▶ **NPOによるプレゼンテーション**
 - 名古屋会場 ➡ P10 ①
 - 豊橋会場 ➡ P14 ①
- ▶ **SDGsの取り組み事例発表**
 - 名古屋会場 ➡ P12 ②
 - 豊橋会場 ➡ P16 ②

企業：東海労働金庫 **名古屋会場**
株式会社サーラコーポレーション **豊橋会場**

学校：名古屋国際中学校・高等学校 **名古屋会場** **豊橋会場**
- ▶ **結果発表及び協賛団体からの寄附金の贈呈**
 - 名古屋会場 ➡ P12 ③
 - 豊橋会場 ➡ P16 ③
- ▶ **NPOと参加者との意見交換**
 - 名古屋会場 ➡ P13 ④
 - 豊橋会場 ➡ P17 ④

ファシリテーター：原田さとみ氏(司会者)

3 協賛団体

SDGsや社会貢献活動に熱心に取り組んでおられ、本事業の趣旨に賛同された以下の2団体から、各30万円の寄附金が贈呈されました。

- ▶ 東海労働金庫 (名古屋市中区)
- ▶ 株式会社サーラコーポレーション (豊橋市)

2. 開催実績

名古屋会場

1 NPOによるプレゼンテーション

NPO法人おさんぽや

テーマ 「自然×グラデーション×子育て

『子育ては一人ではできません』安心安全な居場所作り



孤立してしまうと子育ては悪循環となりがちで、うつ病や虐待にもつながり

かねません。私たちの団体は、家庭と学校以外の第三の居場所を作ることで、子育ての悪循環を良循環に変えていきます。自然とのふれあいを大切に、子どもも大人も安心できる居場所を作り、地域の交流の場として提供しています。

県民の皆さんへのメッセージ

屋外で火を囲み、自然・仲間の中で過ごしてみませんか？子どもも大人も自然の中で自分の時間やコミュニケーションを楽しみましょう。是非体験会にご参加ください！

NPO法人こまき市民活動ネットワーク

テーマ 「未来は自分たちで創る・育てる！

『こまきみらいネットワーク』の創設を目指して！



発表時の『こまきみらいネットワーク』は、その後『こまきのことプロジェクト』と名称も新たに推進中です。私たちは中間支援組織として、他の市民活動団体、企業、行政、学校をつなぐ役割を

担っています。またSDGsを切り口として、若者たちに社会貢献事業の魅力も伝えています。

県民の皆さんへのメッセージ

次世代育成事業『こまきのことプロジェクト』の一つである子どものまち事業では、子どもたちが主役となり、実行委員会にてイベントを企画・運営しています。一度実行委員会を見学してみませんか？

NPO法人オフィス・マハロ

テーマ 「あなたによりそう NPO法人オフィス・マハロ」



オフィス・マハロが目指すのは、困難を抱える女性と子どもたちが、安心・

安全に自己決定できる社会、それは「誰も置き去りにしない社会」です。DVの被害者など目の前のひとりに何ができるのかを考え、制度の間で苦悩している人に寄り添い支援しています。

県民の皆さんへのメッセージ

対象者への直接支援となると、社会福祉士、臨床心理士といった有資格者の方に是非一緒に活動していただきたいです。また、シェルターに置く備品の寄附は常時受付しています。皆さんにできる支援をお願いします。

NPO法人多文化共生サポートAdagio

テーマ 「多文化共生社会の実現をめざして」

私たちが目指すのは、国籍に関係なく様々な場面に参画できる社会です。地域には様々な考えや文化的背景を持った人たちが暮らしています。お互いに認め合いながら心を通わせ、誰もが安心して暮らせる地域であることが理想ですが、現実には難しいです。私たちはコミュニケーションサポート、困りごとサポート、防災・減災のサポートの3つの柱を中心に支援しています。

県民の皆さんへのメッセージ

多国籍の方が参加する子育てサロンや多文化マルシェを企画・運営しています。色々な文化とふれあってみませんか？もちろん日本語でもOKです。子どもたちに日本語を教えることも歓迎です。



NPO法人知多地域権利擁護支援センター

テーマ 「『助けて』が言えない人たちの孤立とともに」

あなたは「助けて」を言えますか？判断能力の乏しい方は「助けて」の一言が言えず孤立しています。私たちは困った際に頼れる機関や仕組みづくり、孤立を気づける関係性づくり、支援・受援双方向のつながりづくり等、互助の力を高めていくことを目指しています。

県民の皆さんへのメッセージ

地域福祉人材バンクを立ち上げます。バンクに登録するため、まずは研修を受けてみませんか？また、バンク立ち上げのため、さらに運営していくための資金も必要です。是非寄附をお願いします。



NPOアワードの概要説明が行われた後、NPO5団体からのプレゼンテーションが実施されました。

その後、会場の参加者は、最も共感し、参加したいと思ったNPOを選び、投票用紙に理由と共に記入し、投票しました。



司会者：
原田さとみ氏

2 SDGsの取り組み事例発表

東海労働金庫様からの事例発表



名古屋国際中学校・高等学校の生徒さんからの事例発表



東海労働金庫様、名古屋国際中学校・高等学校の生徒さんより、それぞれどのようにSDGsに取り組んでいるか、わかりやすく説明していただきました。

3 結果発表及び協賛団体からの寄附金の贈呈

	団体名	寄附金額
1位	NPO法人こまき市民活動ネットワーク	86,667円
2位	NPO法人オフィス・マハロ	63,333円
2位	NPO法人多文化共生サポートAdagio	63,333円
4位	NPO法人知多地域権利擁護支援センター	50,000円
5位	NPO法人おさんぽや	36,667円

贈呈式



会場の参加者からの投票結果と審査員による審査結果に基づき、各団体の順位と寄附金額が発表されました。

そして、東海労働金庫様からの寄附金が、営業統括部川畑様から参加した5団体に贈呈され、メッセージが送られました。

4 NPOと参加者との意見交換



おさんぽやは、どの位の頻度でどのように遊ぶのか？

週2、3回、公園で外遊びをしている。天気が悪くてもそれを楽しめるようかっぱを着ている。地域の高齢者の方に温かい声をかけていただけると嬉しい。

中間支援機関は縁の下の力持ちだと思う。

つながろうとする企業でも、まだ中間支援組織って何？という方もみえるので、もっと自団体の活動をより知ってもらえるよう取り組みたい。

どのような支援を求めているか？

まずは研修を受けて、より知ってもらいたい。

やってほしいことは色々ある。ただ普段の活動に参加してもらえただけでも嬉しい。

5 関係者集合写真



3. 開催実績

豊橋会場

1 NPOによるプレゼンテーション

NPO法人青ねこくらぶ

テーマ 「生活のしづらさを抱えた本人が、
働く事が出来る街づくり」を目指します」

私たちは、不用自転車の活用を活動の柱にしています。立ち上げから24年を迎えました。自転車の5R(リユース、リデュース、リユース、リペア、リサイクル)を実践し、「循環型社会」の実現につなげています。また障がい者の働く場でもあります。地域の方へもっと自分たちの活動を知っていただけるよう発信していきます。

県民の皆さんへのメッセージ

「大量生産・大量消費」を続けていては、地球環境は悪くなる一方です。自転車は修理して乗り続け、それでも不用になったら寄附してください。部品を使用したアクセサリー作りもおこなっています。是非体験しに来てみて！



認定NPO法人アジア車いす交流センター

テーマ 「車いすが変える、子どもたちの世界」

知っていますか？アジアの途上国には車いすがないため生涯寝たきりの子どもたちがたくさんいます。私たちの団体は、車いす支援事業と教育支援事業でその未来を変えていきます。量ではなく、一人ひとりにあった車いす、教育支援で自立に導くことを活動の柱としています。

県民の皆さんへのメッセージ

ボランティアとして車いすの清掃・修理が体験できます。初めてでも丁寧にレクチャーするので心配はいりません。また、チャリティーイベントや寄附など色々な支援方法があります。まずは、できることから始めてみませんか？



学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会

テーマ 「24万人の学校に行けない子どもたち」

不登校の生徒は増え続け、2021年度には24万人に達しました。また、登校はしていても、内心「行きたくない。」と思っている隠れ不登校の生徒がその3倍いるとも言われています。私たちは多様な子どもたちが自分らしくいられる環境を作り、成長と未来への可能性の実現を促進していきます。まなびの機会を失う子がゼロとなることを目指して。

県民の皆さんへのメッセージ

平日の屋間に不登校の子に出会ったら、温かい目で見守り困っていたらそっと声をかけてあげてほしいです。私たちの活動に共感していただけましたら、ボランティアサポーターとしての参加もお待ちしております。



NPO法人地域福祉サポートちた

テーマ 「自分らしく、心豊かに、幸せに、暮らしていける地域づくり」

私たちの団体は“制度の間隙”にいる人たちの困りごとを、地域のネットワークや連携で解決するよう支援しています。制度は属性に当てはめられて存在するため、ニーズが把握されていないと隙間ができ支援が届かなくなります。今後も支援の届きづらい多様な人たちに、「育ち合う」「つなげる」「きっかけ」をキーワードに活動をしていきます。

県民の皆さんへのメッセージ

あなたもサポちたの事業に参加してみませんか？カフェ事業も行っているのですまずは気軽に食べに来て！他にも高校生に福祉資格講座を企画したり、NPO現場めぐり研修も開催しています。



NPO法人クオーレ

テーマ 「精神障害者(うつ病)が代表になってわかった大切なこと。」

私たちの団体は、障害者、引きこもり、難病患者、生活困窮者など“働くこと”に何か制限がある方を応援して、楽しく働ける社会を創ることを目指して活動しています。誰でもその当事者になる可能性があることを常に心に持つことが大切です。社会復帰への道のりは中長距離で簡単ではありませんが、一人ひとりの目標に合った復帰目標を立て支援していきます。

県民の皆さんへのメッセージ

働きたいと思っても働けない人が多くいます。そうした人がいることを、その人を支援する施設があることを、まずは知っていただきたいです。皆さんも、社会復帰のための施設を訪問してみませんか？



NPOアワードの概要説明が行われた後、NPO5団体からのプレゼンテーションが実施されました。

その後、会場の参加者は、最も共感し、参加したいと思ったNPOを選び、投票用紙に理由と共に記入し、投票しました。



2 SDGsの取り組み事例発表

株式会社サーラコーポレーション様からの事例発表



名古屋国際中学校・高等学校の生徒さんからの事例発表



株式会社サーラコーポレーション様、名古屋国際中学校・高等学校の生徒さんより、それぞれどのようにSDGsに取り組んでいるか、わかりやすく説明していただきました。質疑応答では積極的に質問があり、SDGsに関してより理解を深めることができる時間となりました。

企業への「まだ進んでいない点は？」という質問には、「経済成長も含めて地域課題を解決する活動を推進したい。」と、企業の視点ならではの回答がありました。

また、学校へは苦労した点が質問され、「出会いの縁に恵まれたのであまり苦労していない。」との回答でした。生徒たちの熱意がその縁を生んだのでしょうかとの司会者の言葉に参加者も頷いていました。

3 結果発表及び協賛団体からの寄附金の贈呈

	団体名	寄附金額
1位	認定NPO法人アジア車いす交流センター	93,333円
2位	学校が苦手な子と親の居場所おこのみ会	73,334円
3位	NPO法人青ねこくらぶ	50,000円
4位	NPO法人地域福祉サポートちた	43,333円
5位	NPO法人クオーレ	40,000円

贈呈式



会場の参加者からの投票結果と審査員による審査結果に基づき、各団体の順位と寄附金額が発表されました。

そして、株式会社サーラコーポレーション様からの寄附金が、コーポレートブランディング推進部川島部長様から参加した5団体に贈呈され、メッセージが送られました。

4 NPOと参加者との意見交換



アジア車いす交流センターは、日本国内の支援活動はないのか？

国内では車いす修理を行って活動資金にしたり、車いすダンスというイベントを企画してアジアだけでなく日本の車いすユーザーにも参加してもらっている。

どこまでがNPOで、どこからが行政か？

中々線引きは難しいこともあるが、常に連携を取って活動を推進している。

今日は、子どもを支援する団体や就労を支援する団体など、様々な活動をするNPOが参加していて、企業を退職した後、ボランティアでNPOに参加している人もいます。そして、この会場にはNPOだけではなく、企業、学校と県もいて、会場関係者が集まれば、なんでもできると思った。この活動が全国に広がっていけば良いと思う。

5 関係者集合写真



4. 発表したNPOの声

当日は会場の皆様が真剣に聞いてくださり感謝しています。発表資料をまとめるにあたって、スタッフとも再度団体について向き合うことができ大変貴重な機会になりました。

DVや児童虐待に関わったことが無い方々に伝えることの難しさを改めて感じました。これからもさらにプレゼンのスキルをアップしていきたいと思います。

NPO活動に興味のある県民の方の存在を改めて知ることができ、嬉しかったです。評価をいただけたことで、自分たちの取り組みへの自信と責任をいただくことができました。

活動を支援してくれる方々がいることはとても励みになりました。今後も様々な場面で団体の活動をPRしていきたいと思います。

プレゼンをされた方が参加した感想として、自分たちのことをどう知らない人たちに伝えたらよいか勉強になったと話されたことが、同じ課題を持つ者として、印象に残りました。そういった機会を意識して持つことが、大切であると気づかされました。

5. 参加した県民の声

NPOの活動は自発的に知ろうと思わないと触れる機会がありません。イベントの開催すら知らない方も多いと思うので、日常生活に溶け込み多くの方に関心を持ってもらえるようになると良いと思いました。

意見交換会での最後の発言で、会場の関係者が集まればなんでもできるという言葉に心が打たれた。

参加したことで様々な活動をされている方々の発表を聞かせて頂き、視野がとても広がりました。参加して良かったです。

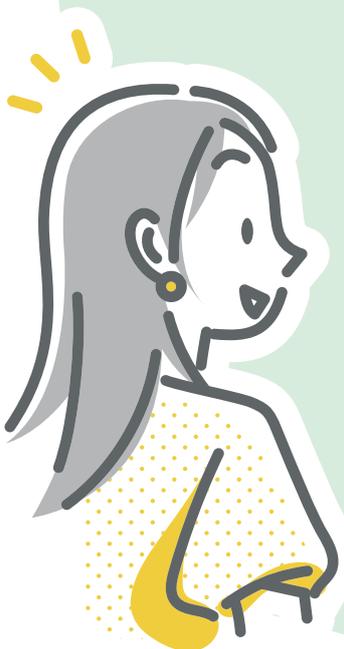
知らなかった事ばかりで勉強になったとともに、人や町や未来のためにこんなにも一生懸命な人がたくさんいる事に感動しました。

皆さん生き生きとされてましたし、素晴らしい活動に頭が下がります。もっと活動が世間に可視化でき、老若男女気軽に参加できる世界が来たら良いと思いました。

NPO法人の活動を知ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。意見交換の機会があったのが、聞いている側としては嬉しかったです。

会場の参加者が多く、プレゼンも簡潔でわかりやすくとてもよかったです。学生のSDGs事例紹介は、新鮮でとても意義ある活動だと感じました。

特に、意見交換でのフリートークで、関係者の意図や熱意が伝わってきたように感じました。



開催実績 1

NPOアワードの参加者が、NPOの活動を実際に体験することにより、社会参画・貢献を考えるための実地体験を行いました。

概要

日時: 1月26日(木) 9:30 ~ 12:00

場所: 認定NPO法人アジア車いす交流センター(刈谷市)

参加者: 当団体に共感し応募した県民3名

内容: まず法人全体の活動内容の説明を受け、自己紹介の後、「車いす病院」の指導者の方々からマンツーマンで車いすの清掃・修理の仕方を教わりました。
タイヤの空気圧を間違えると車いす利用者の事故にもつながるとの説明もあり、参加者全員、慎重かつ丁寧に行っていました。

当日の様子



参加者の声



思っていた以上に車椅子のパーツが多く、大変だったがとても楽しく修理することができました。

車いすの構造や修理の仕方など、全く知らなかったことを知ることができたので楽しかったです。思っていたよりも車いすの量が多かったのには驚きました。直す作業も大変だったが、直った車いすで生活が楽になる人がいると思うと、綺麗にしてあげたいという気持ちになりました。



開催実績 2

概要

日時： 2月11日(土) 13:00 ~ 16:00

場所： NPO法人こまき市民活動ネットワーク (小牧市)

参加者： 当団体に共感し応募した県民6名

内容： まず法人全体の活動内容の説明を受け、子ども達と打ち解けるための簡単なゲームをしました。不要な紙でより高いタワーを作る対決は、子どもチームの勝利でした。

その後、自己紹介をして、子どものまち実行委員の会議に参加しました。「子どものまち」とは、子ども達の発想で仮想のまちを創り、子どもの創造性や主体性を育み、社会の仕組みを学ぶキャリア教育事業です。企画メンバーの大学生は、基本見守り役としてサポートに徹していました。その中で、子ども達が自発的に意見を言い合い進めている姿に、次代の企画メンバーとなっていく未来が見えました。

当日の様子



参加者の声

運営している学生さんの話を聞く時間がたくさんあったことや、生き生きと参加されてる子ども達の様子やそれぞれの意見を聞けた事が大変、印象に残りました。



自分も最近、地域の子ども達に関わる活動に参加することがあり、勉強になりました。

子ども達主体で運営している徹底ぶりは今後他でも活かすことができそうです。また運営も、過去イベントに参加した子どもが大きくなった大学生が実施しているのが、とても良い仕組みだと思いました。





NPO法人青ねこくらぶ



所在地：刈谷市

https://aonekoclub.jp

団体のミッション	自分達の暮らしについて自分で考え、選べたり決めていけることを応援できる事業を創出する。
今後のNPO活動における抱負	障がいを持った方々が、無理なく活動のスキルを身に付けることができ、自分に自信を持つことができる活動を展開していきたい。
SDGs関連活動についての一言宣言	ゴミとなってしまう放置自転車の再生や自転車修理などの5Rを実践し、「循環型社会」の実現に繋がります。
SDGs関連活動	<p>主な活動</p> <p>⑧, ⑫, ⑬ 放置自転車の再生および販売と自転車修理</p> <p>その他の活動</p> <p>③, ⑧ …… 障がいを持っている本人が主体的に働ける場所の創出と地域で自分らしく暮らす環境づくり</p> <p>⑫, ⑬, ⑭ …… 廃油石けんの製作および販売</p> <p>③, ⑧, ⑬ …… 障がい者のデザインをプリントしたオリジナルエコバッグの製作および販売</p> <p>⑤, ⑩, ⑰ …… LGBTのBさん(ピアニスト)とのコラボ演奏会の開催</p> <p>⑩ …… 自転車販売・修理を通じて、海外からの研修生と交流</p> <p>⑧, ⑫, ⑬ …… 自転車購入者への継続的なサービス</p>



自転車部品のアップサイクル事例と青ねこくらぶ周辺の公共施設の場所が分かる地図をプリントしたクリアファイルを作製します。

寄附金の活用状況	概要	<p>事業名等 SDGsと社会福祉に貢献するノベルティの作製</p> <p>日時(期間) 2022年度中に作製し、2023年度より配布</p> <p>場所 青ねこくらぶ</p> <p>内容 SDGsに関心を持たれている方や道に迷われて青ねこくらぶに訪れる方などにお渡しする「自転車部品の新たな活用事例」と「周辺の公共施設の地図」をプリントしたクリアファイルの作製</p> <p>対象 青ねこくらぶ来訪者</p> <p>参加人数 200名(予定)</p>
	具体的な状況	<p>SDGsへの関心が高まるにつれ、当法人が行っている自転車再生やアップサイクルについても関心が高まっています。中でも自転車のどこの部品がどんな物に生まれ変わるかに関心を持たれている方が多くいらっしゃいます。また、当法人周辺には市役所を始めとした公共施設が多くあります。その場所が分からずに当法人を訪れる方もいらっしゃいます。</p> <p>そこで、アップサイクルの具体的な事例と青ねこくらぶ周辺の公共施設が分かる地図をプリントしたクリアファイルを作製し、ノベルティとして配布します。</p>





認定NPO法人アジア車いす交流センター



所在地：刈谷市

<https://wafca.jp/>

団体のミッション	アジアの障がい児の尊厳と機会が損なわれないバリアフリー社会を実現する。
今後のNPO活動における抱負	今後は、これまで培った23年の経験とノウハウを活かした車いす寄贈数、エリアの拡大を目指しています。規模を拡大しても、WAFCAの特徴である「一人ひとりに合った車いすの提供」を大切に、質の維持に取り組めます。
SDGs関連活動についての一言宣言	WAFCAは車いす提供、障がい児を取り巻く教育の課題やバリアフリーの課題解決をしていきます。また、それらを寄付者、会員、ボランティアなどの支援者の皆様、企業、行政の皆様と一緒に取り組めます。
SDGs関連活動	<p>主な活動</p> <p>③ 身体や環境に合う車いすを提供</p> <p>その他の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 貧しい農村や都市スラムで支援 ④ 障がい児に奨学金や研修機会を提供 ⑥ バリアフリートイレや設備を設置 ⑧ 就職や起業を志す障がい児を支援 ⑩ 人や国の不平等をなくそう)国連障害者権利条約に基づいて支援 ⑪ 障がい児の自宅のバリアフリー化支援 ⑰ 政府、教育機関、企業との連携



タイ・インドネシアの貧困地域に暮らす障がい児に、車いすを届けます！

寄附金の活用状況	概要	事業名等	車いす支援事業
		日時(期間)	2023年4月～2024年3月
		場所	タイ・インドネシア
		内容	体に合った車いすの寄贈
		対象	障がい児
		参加人数	3名
寄附金の活用状況	具体的な状況	<p>タイ・インドネシアには車いすが買えず、生涯寝たきりで過ごす障がい児が沢山取り残されています。さらに、コロナ禍による他車いす支援団体の撤退、そしてアジアの更なる人口増加で、WAFCAに届く車いす希望申し込みは年々増えています。いただいた寄附金は車いすを希望する障がい児3名に車いすを寄贈するために使用します。</p>	

豊橋会場

寄附金額
93,333円



団体のミッション	「一人では子育てはできません」子育てによる孤立を防ぐ。														
今後のNPO活動における抱負	活動を知ってもらいながら、共感・応援してもらえるようにPRをしていく。 地域や企業とコラボをして、自主事業コンテンツを立ち上げる。														
SDGs関連活動についての一言一言	<p style="text-align: center;">「自然×グラデーション×子育て 安心安全な居場所でみんなで子育て！」</p>														
SDGs関連活動	<p>主な活動</p> <p>④,⑬ 親子さんぽ会や野外預かり保育の活動を通じ、身近な自然と親しみ学ぶことで、すべての人が質の高いサポートを受けながら、仲間の中で体と心の成長を促進させていくよう支援</p> <p>その他の活動</p> <p>① 地域と繋がりながら、子育てに対して専門性の高いスタッフのサポートが受けられる安心安全な居場所の提供。シビックプライド（郷土愛）の醸成。</p> <p>SDGs関連の参加イベントや登録状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JTSDs 貢献プロジェクト「みんなで緑をふやそう！大作戦」 ・一宮市100周年事業「みんなでつながるSDGsNEXT100」 ・一宮市のSDGs/パートナー登録団体 														
企業との連携	子育てイベントや、子ども向け製品の企画・開発や作製など、企業と連携・協働して実施したい。														
寄附金の活用状況 名古屋会場 寄附金額 36,667円	<p>野外炊事をする際の施設使用料や材料などの実施費用として使用します。</p> <table border="1" data-bbox="400 1312 1474 1720"> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">概要</td> <td>事業名等</td> <td>火を囲みながら、自然・仲間の中で過ごす会</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>2023年3月4日(土)</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>大野極楽寺公園</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>自然の散策と野外炊事をする。</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>おさんぽやの活動に興味がある、もしくは応援したい方(年齢制限なし)</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>10人(予定)</td> <td></td> </tr> </table> <p>具体的な状況</p> <p>普段活動している大野極楽寺公園をおさんぽしながら、自然の中に春を見つける。(自然観察、自然セラピー)</p> <p>野外炊事を通して、火を起こすなどの体験をする。 お昼ごはんを食べながら、気づいたことや感想を伝え合い、仲間と対話をする。</p> 	概要	事業名等	火を囲みながら、自然・仲間の中で過ごす会	日時(期間)	2023年3月4日(土)	場所	大野極楽寺公園	内容	自然の散策と野外炊事をする。	対象	おさんぽやの活動に興味がある、もしくは応援したい方(年齢制限なし)	参加人数	10人(予定)	
概要	事業名等		火を囲みながら、自然・仲間の中で過ごす会												
	日時(期間)		2023年3月4日(土)												
	場所		大野極楽寺公園												
	内容		自然の散策と野外炊事をする。												
	対象	おさんぽやの活動に興味がある、もしくは応援したい方(年齢制限なし)													
参加人数	10人(予定)														



NPO法人オフィス・マハロ



所在地：小牧市

<https://npo-office-mahalo.com/>

団体のミッション	困難な問題を抱える女性と子どもたちが、自らの意思で安心・安全に自己決定できる社会を目指す。
今後のNPO活動における抱負	活動の継続と発展のために、安定した資金の確保と人材育成をします。 ①新たにシェルターを増設します。 ②相談と支援・運営を担う次世代の人材を育成のために、他地域の女性団体と連携を密にして人材を発掘します。
SDGs関連活動についての一言一言	① 誰も置き去りにしない社会を目指して、様々な困難を抱える女性と子どもたちを支援していきます。 ⑤ 社会的な固定観念にとらわれず、その人がその人らしく生きるための啓発活動を続けます。

主な活動

- ①, ⑤ DV被害や児童虐待にあっている女性と子どもたちのために電話・面接・LINEなどで相談窓口を開設し、行政や広域の民間支援団体と連携して、生活再建まで継続的によりそい支援

その他の活動

SDGs関連活動

- ・緊急時に一時宿泊できるシェルターを運営
- ・広域行政による窓口の受託
- ・企業向け外部相談窓口設置の提案



シェルターでより快適に過ごしていただくための家電を購入し日用品を補充します。

概要	事業名等	シェルター「にじいろハウス」運営
	日時(期間)	年間を通じて受け入れ
	場所	愛知県内
	内容	様々な状況から居場所を失った女性と子どもたちが、生活再建のめどをつけるまでの住居を提供する。
	対象	世代を問わず女性と子どもたち
	参加人数	家族単位で受け入れ、期間は一家族当たり2週間～3か月、年間約20名を予定

具体的な状況

より快適に過ごしていただくために、以下のものをそろえたいと考えています。

- ①パネルヒーター 予算35,000円
- ②DVDプレーヤー 予算10,000円
- ③残額はトイレトペーパーや生理用品、洗剤などの消耗品に予定しています。

利用者及びシェルターの秘密保持のために写真は掲載できませんので、ご了承ください。

寄附金の活用状況

名古屋会場

寄附金額

63,333円



学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会



所在地：安城市

<https://www.facebook.com/okonomikai>

団体のミッション	多様な子どもたちが自分らしくいられる環境を作り、子どもに本来備わっている成長と将来への可能性の実現を促す。活動を通して人々の健全な生活を守り、誰一人取り残さない社会を目指す。
今後のNPO活動における抱負	不登校の子どもは年々増加傾向であり、おこのみ会への問い合わせも増えている。少しでも多くの不登校当事者親子の力になれるよう、当事者の今欲しい支援の声に耳を傾け、柔軟に対応していきたい。

SDGs関連活動について一言宣言 **不登校の子どもたちが明るい未来を描ける社会をつくります！**

SDGs関連活動	<p>主な活動</p> <p>④ 多様な子どもたちが学校以外の場でも教育の機会が得られるよう、ものづくりやスポーツ、課外活動や多世代のボランティアとの交流機会を提案。また各自に合った学びの場の情報を提供</p>	
	<p>その他の活動</p> <p>⑩ 発達障害やHSCなどの多様性を持ち、学校に適應しない子どもたちに対する支援や、その親への支援</p> <p>⑪, ⑰ 他団体や地域と積極的に協働し、社会で子どもたちを育てる機会作り</p>	

- ①課外活動 1月19日(木) 刈谷市交通遊園 交通費・乗り物代
- ②イベントで使用するタープの購入
- ③子どもたちが使用のおもちゃや制作の道具の購入

寄附金の活用状況	概要	事業名等	学校が苦手な子と親の居場所 おこのみ会
		日時(期間)	毎週木曜日 10時～15時
		場所	安城市交流センター 会議室 調理室
		内容	不登校当事者親子の居場所づくり
		対象	不登校の小中学生とその親(ご家族)
		参加人数	20人

寄附金会場	豊橋会場	<p>①課外活動 1月19日(木) 刈谷市交通児童遊園</p> <p>子どもたちの社会体験の為、公共交通機関を利用し外出をする。当日は自分で切符の購入や電車の乗り方を確認し、外食で自分で注文し支払いをするなど、自立に向けた体験をすることが出来た。交通遊園では子どもたちで相談しながら乗り物に乗る姿が見られた。</p> <p>②イベント等で使用するタープの購入</p> <p>子どもたちの好きなもの、興味のあるものから社会とつながる経験をしてもらう為、おこのみ会ではマルシェ等のイベントに参加している。スライム作り体験や子どもたちの手作り品の販売などを行い、地域の人とコミュニケーションを取る、お金のやり取り、どうしたらお客さんに楽しんでもらえるかななどを考えるなど、普段の活動では出来ない体験が出来ている。</p> <p>③今後子どもたちの興味のある玩具や工作の道具などを購入予定</p>	
	寄附金額		73,334円
	具体的な状況		



NPO法人クオーレ



所在地：豊橋市

<https://npo-cuore.com/>

団体のミッション 障害者(児)、引きこもり、難病患者、貧困者、生活困窮者など『生きづらさ』を感じている方々に対して、社会の一員として可能な限り”希望する生活”ができるように自立支援に関する事業を行い地域社会に貢献する。

今後のNPO活動における抱負 団体活動を周知して、必要とする方々へ知ってもらいたい。

SDGs関連活動についての一言宣言 “働くこと”に何か制限のある方達を応援して、
楽しく働ける社会を創ります！

主な活動

③, ⑤, ⑧, ⑪, ⑫ 就労系障害福祉の運用

活動内容

- ・愛知障害者職業能力開発校から障害者委託授業を受託
- ・障害者の職業訓練の場として他法人の訓練生を受け入れ
- ・社会人基礎力をベースとしたプログラミング教室、デバッカー体験の開催
- ・104cafeの運用。働きたくても働くことが難しい乳幼児の母親を雇用



SDGs関連活動

SDGs関連の参加イベントや登録状況

- ・豊橋SDGs推進パートナー企業
- ・愛知県SDGs登録企業
- ・花の王国あいちに参加し、タハナを通じてフラワーロスを解決、心のケア、
- ・障害者雇用の工賃をup

イラスト機能や学習アプリ、健康管理アプリを活用して就労支援の教材の一環として活用いたします。

寄附金の活用状況

豊橋会場

寄附金額

40,000円

概要	事業名等	通常活動
	日時(期間)	2023年3月上旬予定
	場所	NPO法人クオーレ施設内
	内容	iPad 第10世代の購入 就労支援を受ける方たちへの教材として。
	対象	通常メンバー スタッフなど
	参加人数	約50名

具体的な状況

購入を予定している機材の写真を添付します





NPO法人こまき市民活動ネットワーク



所在地：小牧市

<https://npo-komaki.net/>

団体のミッション	小牧市における市民、市民活動団体、企業、および行政のそれぞれの「協働のまちづくり」活動を支援する。
今後のNPO活動における抱負	中間支援組織の「よく分からない」というイメージをなくし、たくさんの方々と協力しながら、まずは小牧市で社会貢献に取り組む人材を育てていきます！
SDGs関連活動についての一言宣言	社会課題解決のためにいなくてはならない、社会をよくしようと活動する様々な人たちが活動をずっと続けていけるように、小牧で次世代を育てる仕組みを作り、発信していきます！
SDGs関連活動	<p>主な活動</p> <p>4, 11, 17 小牧市と連携協定を結び、市のSDGs事業を協働で実施</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内のSDGs関心度や取り組みを可視化する「こまきSDGs宣言」推進 「SDGs ACTIONプロジェクト」として、スキルアップ講座や交流会など様々な事業を実施 「こまきのことプロジェクト」にて、社会貢献に取り組む次世代を育成 まちのステークホルダーをつなぐネットワークづくりに注力 
企業・学校との連携	小牧市のSDGs推進を担うべく、引き続き企業・学校と連携・協働していく。

社会貢献に取り組む次世代育成プロジェクトに活用していきます！

寄附金の活用状況	概要	事業名等	こまきのことプロジェクト
		日時(期間)	随時実施中
		場所	こまき市民交流テラスワクティブこまき など
		内容	子どもたちの発想で仮想のまちを創るキャリア教育プログラムである「子どものまち」事業などの企画・運営
		対象	高校生以上～ 20代の若者
		参加人数	3～5名
寄附金額	86,667円	具体的な状況	<p>今年の夏に開催予定の次回「子どものまち」に向けて、大学生を中心とした運営スタッフ、そして子どもたちと一緒に計画中です。寄附金は、主にその開催に必要な経費として使用させていただく予定です。他、運営スタッフの研修や他事業費としても充てさせていただこうと考えています。</p>  <p>※写真は、「子どものまち」計画会の様子です。</p>



NPO法人多文化共生サポートAdagio



所在地：西尾市

<https://tabunka-adagio.jimdofree.com/>

団体のミッション	多文化共生社会を実現する。
今後のNPO活動における抱負	団体の活動を通して人々がお互いに認め合いながら心を通わせ、誰もが安心して暮らせる地域を作りたい！
SDGs関連活動についての一言宣言	国籍に関係なく誰もが参画できるまちづくりに貢献します
SDGs関連活動	<p>主な活動</p> <p>④,⑩,⑪ 外国籍住民と日本人住民の隔たりをなくし、どんな時も協力しあって暮らしている社会にするためのサポート事業を実施</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 中高生を対象に日本語支援&学習支援をする教室「アーモンド」を運営 ⑩ 日常生活内のコミュニケーションをサポート。子育てサロン「クローバー」や、困りごと相談室「チューリップ」、ふれあいの場「多文化マルシェ」を運営 ⑪ 国籍や言語に左右されない災害時のサポートとして、災害への備えや避難に関する情報を提供。「共に助け合う仲間」としての地域づくりもサポート。
学校との連携	大学などと連携し、外国籍の子の日本語支援や学習支援につなげたい。



寄附金の活用状況	多文化子育てサロン「クローバー」の紹介チラシの多言語化及びマルシェ等への外国人出店者のためのブース作成費に活用します。												
	概要	<table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>多文化子育てサロン「クローバー」</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>月1回の開催を継続して実施</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>きら市民交流センター(西尾市吉良町荻原桐杭18番地1)</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>日々子育てに奔走するママが「ほっ」と一息がつけるような時間と場所を提供し、外国人親子と日本人親子と一緒に参加することにより、子育てに必要な情報を得ると共に、お互いに情報交換ができる関係づくりをする。</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>未就園児を持つ親子</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>外国籍親子・日本人親子あわせて10組程度</td> </tr> </table>	事業名等	多文化子育てサロン「クローバー」	日時(期間)	月1回の開催を継続して実施	場所	きら市民交流センター(西尾市吉良町荻原桐杭18番地1)	内容	日々子育てに奔走するママが「ほっ」と一息がつけるような時間と場所を提供し、外国人親子と日本人親子と一緒に参加することにより、子育てに必要な情報を得ると共に、お互いに情報交換ができる関係づくりをする。	対象	未就園児を持つ親子	参加人数
事業名等	多文化子育てサロン「クローバー」												
日時(期間)	月1回の開催を継続して実施												
場所	きら市民交流センター(西尾市吉良町荻原桐杭18番地1)												
内容	日々子育てに奔走するママが「ほっ」と一息がつけるような時間と場所を提供し、外国人親子と日本人親子と一緒に参加することにより、子育てに必要な情報を得ると共に、お互いに情報交換ができる関係づくりをする。												
対象	未就園児を持つ親子												
参加人数	外国籍親子・日本人親子あわせて10組程度												
名古屋会場	具体的な	多文化子育てサロン「クローバー」の紹介チラシを日本語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、中国語でリニューアルします。日本人親子と外国人親子の交流促進を目指して今年度から始めたサロンですが、外国人親子の参加が少ないです。チラシが日本語のみしかないので原因の一つかと思しますので、チラシの多言語化と内容のリニューアルにより外国人親子の参加を増やしたいと思います。											
	概要	<table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>マルシェ等への出店サポート</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>奇数月第一日曜日及び西尾市内のイベント開催時</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>西尾駅前広場及び市内イベント会場</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>Adagio主催のマルシェ及び西尾市内で開催するイベントへの外国人店主のブース出店により、日本人と外国人の交流を促し、地域の多文化共生を進める。</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>出店を希望する外国籍住民</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>各回外国人5名程度</td> </tr> </table>	事業名等	マルシェ等への出店サポート	日時(期間)	奇数月第一日曜日及び西尾市内のイベント開催時	場所	西尾駅前広場及び市内イベント会場	内容	Adagio主催のマルシェ及び西尾市内で開催するイベントへの外国人店主のブース出店により、日本人と外国人の交流を促し、地域の多文化共生を進める。	対象	出店を希望する外国籍住民	参加人数
事業名等	マルシェ等への出店サポート												
日時(期間)	奇数月第一日曜日及び西尾市内のイベント開催時												
場所	西尾駅前広場及び市内イベント会場												
内容	Adagio主催のマルシェ及び西尾市内で開催するイベントへの外国人店主のブース出店により、日本人と外国人の交流を促し、地域の多文化共生を進める。												
対象	出店を希望する外国籍住民												
参加人数	各回外国人5名程度												
	具体的な	外国人出店希望者のためのブース作成費に活用します。自分で何かを試してみたいけれど勇気も経験もないといった外国籍の方を応援するために、自分たちで作った雑貨や野菜などを販売するための材料費(看板・文房具・手配りチラシ等)を支給します。ブース出店を通して、外国人の方々が自分らしく生き生きと日本で生活していける一歩にしたいと思います。											

寄附金額

63,333円



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

NPO法人地域福祉サポートちた



所在地：知多市

<https://sunnyday-cfsc.ssl-lollipop.jp/>

<p>団体のミッション</p>	<p>福祉の心と市民意識を持つ人材を養成するとともに、主に福祉に関する市民活動を支援する事業を行うことによって、地域福祉の質の向上を図り、福祉の増進と社会全体の発展に寄与する。</p>																		
<p>今後のNPO活動における抱負</p>	<p>団体活動を周知して、必要とする方々へ知ってもらいたい。</p>																		
<p>SDGs関連活動についての一言宣言</p>	<p>他団体や行政とのネットワークを強化、連携を促進し、地域福祉に携わる人材不足の解消を目指すとともに、地域の人たちに役割を生み出していきます。</p>																		
<p>SDGs関連活動</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>主な活動</p> <p>③,⑪,⑰ 福祉に関わるNPOの中間支援組織として、誰もが自分らしく暮らしていける地域づくり、ネットワークを活用した課題解決を推進</p> <p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「育ち合う」人材育成・研修事業を実施。高校生に無料の福祉資格講座受講の機会を提供(介拓プロジェクト) ・「つなげる」相談事業や情報交流促進事業を実施。知多半島のNPOネットワークを強化 ・「きっかけ」市民活動支援事業でボランティアや市民活動を始めるきっかけづくりを実施。手づくりカフェ Ada-codaやNPO現場めぐり研修など運営 </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div>																		
<p>寄附金の活用状況</p> <p style="text-align: center; background-color: #f96; color: white; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">豊橋会場</p> <p style="text-align: center; background-color: #fff; border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-top: 10px;">寄附金額 43,333円</p>	<p>NPOリーダー研修「0歳から100歳、みんなで支えあう地域福祉の実践」の開催実施費用に活用しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">概要</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">事業名等</td> <td>NPOリーダー研修「0歳から100歳、みんなで支えあう地域福祉の実践」</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">日時(期間)</td> <td>2023年1月18日 14:00 ~ 16:30</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">場所</td> <td>メディアス体育館ちた 大会議室</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">内容</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義 「包括的支援体制と重層的支援体制整備事業」 原田 正樹先生 (日本福祉大学社会福祉学部 教授) 2. 事例発表 ①加藤 恵さん (半田市障がい者相談支援センター長) ②山崎 紀恵子さん (認定NPO法人絆 代表理事) 3. グループワーク ・2つの事例の推進要因は何でしょうか？ ・NPOの実践が何と、どのようにつながれば、さらに良くなるでしょうか？ 4. 発表 </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">対象</td> <td>NPO・社協・行政</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">参加人数</td> <td>60人</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">講演会の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	概要	事業名等	NPOリーダー研修「0歳から100歳、みんなで支えあう地域福祉の実践」		日時(期間)	2023年1月18日 14:00 ~ 16:30		場所	メディアス体育館ちた 大会議室		内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義 「包括的支援体制と重層的支援体制整備事業」 原田 正樹先生 (日本福祉大学社会福祉学部 教授) 2. 事例発表 ①加藤 恵さん (半田市障がい者相談支援センター長) ②山崎 紀恵子さん (認定NPO法人絆 代表理事) 3. グループワーク ・2つの事例の推進要因は何でしょうか？ ・NPOの実践が何と、どのようにつながれば、さらに良くなるでしょうか？ 4. 発表 		対象	NPO・社協・行政		参加人数	60人
概要	事業名等	NPOリーダー研修「0歳から100歳、みんなで支えあう地域福祉の実践」																	
	日時(期間)	2023年1月18日 14:00 ~ 16:30																	
	場所	メディアス体育館ちた 大会議室																	
	内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義 「包括的支援体制と重層的支援体制整備事業」 原田 正樹先生 (日本福祉大学社会福祉学部 教授) 2. 事例発表 ①加藤 恵さん (半田市障がい者相談支援センター長) ②山崎 紀恵子さん (認定NPO法人絆 代表理事) 3. グループワーク ・2つの事例の推進要因は何でしょうか？ ・NPOの実践が何と、どのようにつながれば、さらに良くなるでしょうか？ 4. 発表 																	
	対象	NPO・社協・行政																	
	参加人数	60人																	



所在地：知多市 URL: <https://chita-kenri.or.jp/>

団体のミッション	自分のことは自分で決める。住み慣れた地域で自分らしく生きていくことができるまちづくりを目指す。
今後のNPO活動における抱負	住民一人ひとりを大切にできる人づくりができるように地域課題を発信し、皆で方策を考え対応していただけるようにしていきたい。
SDGs関連活動についての一言宣言	誰もが自分らしく生きられるまちとする。そのためには自分のことは自分で決めることができ、人を想える人を増やす必要がある。その一助となるような活動をしていきます。

SDGs関連活動	<p>主な活動</p> <p>3, 16 法人後見事業・啓発事業 成年後見制度を軸に権利擁護支援を実施。また、本人を取り巻く環境から地域課題を発見・啓発し、住民及び関係機関とともに課題解決に向けて活動</p>	
	<p>その他の活動</p> <p>10 権利擁護サポーター講座 権利擁護が必要な方へのサポーターを養成することや地域に権利擁護の意識を持った方を増やすことを目的とした事業</p> <p>11 ろうスクール・ライフエンディング事業 老いに伴い、生じる困難を受け止めた上で、正しい知識をもって、最後まで自分のまちで住み続けられるにはどうするとよいのかを学ぶ事業</p>	

寄附金の活用状況	<p>名古屋会場</p> <p>寄附金額 50,000円</p>	<p>ライフエンディング支援事業 「ライフエンディングとペットについて」講演会に使用します。</p>										
	<p>概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事業名等</td> <td>ライフエンディング支援事業 「ライフエンディングとペットについて」講演会</td> </tr> <tr> <td>日時(期間)</td> <td>令和5年3月24日(金) 13時30分～ 15時00分</td> </tr> <tr> <td>場所</td> <td>知多市勤労文化会館 やまももホール</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>身寄りがないことで飼い主に何か起きた際、ペットが取り残される事案が複数起きております。このことは地域の課題であり、皆さんで考えるきっかけ作りとして、講演会を行います。(下記参照)</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>知多地域4市5町の方 当法人事業参加者(大府市を除く)</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>100名</td> </tr> </table>	事業名等	ライフエンディング支援事業 「ライフエンディングとペットについて」講演会	日時(期間)	令和5年3月24日(金) 13時30分～ 15時00分	場所	知多市勤労文化会館 やまももホール	内容	身寄りがないことで飼い主に何か起きた際、ペットが取り残される事案が複数起きております。このことは地域の課題であり、皆さんで考えるきっかけ作りとして、講演会を行います。(下記参照)	対象	知多地域4市5町の方 当法人事業参加者(大府市を除く)	参加人数
事業名等	ライフエンディング支援事業 「ライフエンディングとペットについて」講演会											
日時(期間)	令和5年3月24日(金) 13時30分～ 15時00分											
場所	知多市勤労文化会館 やまももホール											
内容	身寄りがないことで飼い主に何か起きた際、ペットが取り残される事案が複数起きております。このことは地域の課題であり、皆さんで考えるきっかけ作りとして、講演会を行います。(下記参照)											
対象	知多地域4市5町の方 当法人事業参加者(大府市を除く)											
参加人数	100名											
具体的状況												

発 行：2023年3月

主 催：愛知県（県民文化局県民生活部社会活動推進課）

受託団体：特定非営利活動法人中部プロボノセンター